ふくろう通信



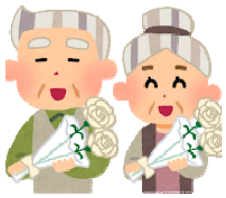
2026年10月
第111号

医療法人 善真会 しまぶくろ歯科医院

理事長より

今年も今月第１土曜に「住吉区健康まつり」が、三師会（住吉区医師会・歯科医師会・薬剤師会）と区役所等と共催で開かれています。その中で「8020表彰式」があります。80歳以上で20本以上しっかり噛める歯をお持ちの方を推薦して、優秀者を表彰するというものです。近年は80歳でも元気にメンテナンスに定期通院され、表彰に値する方がどんどん増えています。毎年区内の各医院から一人ずつしか推薦できないのが残念で、お声掛けするのに迷います。区外（阿倍野区など）にお住まいの方は、大阪府歯科医師会の歯科保健大会にて表彰されるチャンスもあります。
毎年ありますので来年また対象の方にはお声掛けしますね。表彰式に出るのは恥ずかしいなどといわれず、80年以上無事に保たれてきた健康なお口の表彰をうけて、どうぞご自慢なさってください！

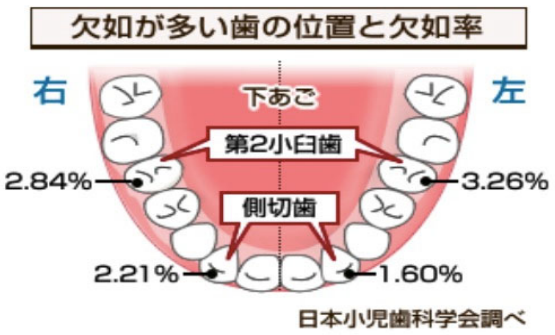




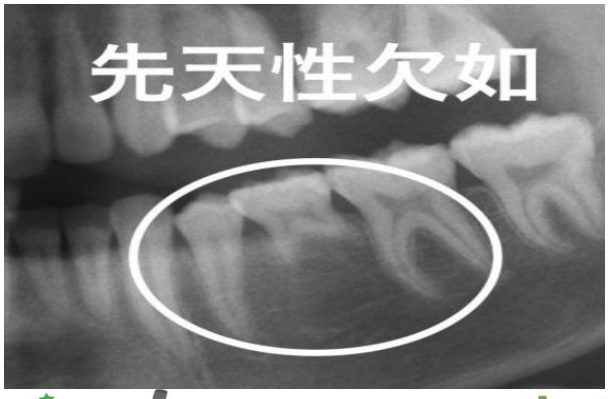
『歯の先天性欠如』

歯科医師：小清水　まみ

人間の歯の数は、乳歯で20本、永久歯で28本（親知らず含めて32本）ですが、先天的な原因で生えてこない状態を「先天性欠如」といいます。原因は不明で、乳歯・永久歯ともに起こります。欠如の数は1～数歯で、中には10歯以上というケースも。永久歯が欠如している人の割合は、約10人に1人。意外に多いですね。
先天性欠如歯の発生部位で多いのは、乳歯では乳側切歯（前から2番目）、永久歯では親知らず。これらはあまり問題にはならないかと思いますが、次いで多い第二小臼歯（前から5番目）と側切歯（前から2番目）の欠如は、見た目や噛み合わせに影響するため、早期発見して対応することが必要です。生えかわりの時期に歯科でレントゲン写真を撮ることで、これから生えてくる永久歯の数や位置を知ることができます。



通常、乳歯は、あとから生えてくる永久歯に押し上げられて歯根が吸収し、グラグラして抜けますが、永久歯が欠如している場合、乳歯がそのまま残ります。ただ、乳歯の歯根は短く、虫歯にもなりやすい。できるだけ乳歯を長持ちさせるためには、歯科の定期検査が欠かせません。
それでも20～30代には抜けてしまうことが多く、子供のうちに欠如スペースを矯正で閉じるか、スペースを空けておいて成人後インプラントなどで補綴するか、計画を立てておくことが大切です。
乳歯の前歯が２本くっついて生えている（癒合歯）、両親に先天性欠如がある、といった場合は、永久歯の欠如がみられることが多いです。他にも、いつまでも乳歯が抜けないなど、気になる場合はご相談ください。



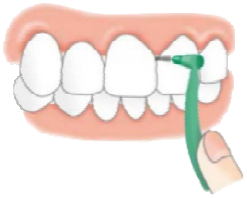
『バレル(樽)型の歯間ブラシお試しください』

歯科衛生士：清水　未衣

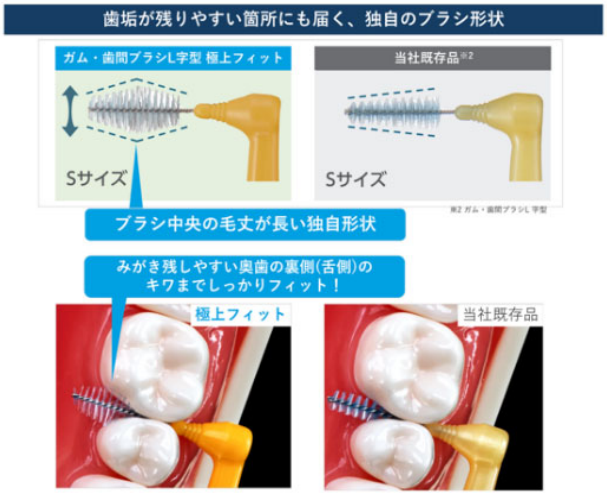
お口の清掃用具にはハブラシやフロスなどがありますが、**歯間ブラシ**も重要な道具の一つです。年齢を重ねると歯ぐきがやせて歯間に隙間ができ、食べ物が詰まりやすくなりますね。そしてハブラシだけでは歯間部の歯垢は約 6 割しか除去できないため（つまり 4 割の歯垢が残っています！）、歯間ブラシの併用が効果的です。

使う順番は 歯間ブラシ → ハブラシ が推奨され、歯磨剤の成分が行き届きやすくなります。まずは就寝前に一日一回、歯と歯の間にゆっくり挿入し、少し抜き差しするようにしながら数回動かします。

両隣の歯の根元の紙面に歯間ブラシの毛がこすれることで隣接面の歯垢が取れます。入らない場合や動かしにくい太さの場合は、無理をせずワンサイズ細いサイズに変更しましょう。



形状はⅠ型やＬ形があり、毛の太さも 4S～２XL まで歯間の大きさや歯並びのに合わせて選びます。最近は、中央の毛が長くしなりやすい「バレル型（樽型）」も登場し、歯と歯ぐきにやさしく当たりながら効率的に歯垢を除去できるよう工夫されています。ＳとMサイズのみですが、適応のある方には歯科医師・歯科衛生士よりサンプルをお渡ししていますので、虫歯や歯周病予防にお役立てください。



『予約のキャンセルについて』

受付：西原　胡桃

当院では、患者様一人ひとりの治療内容やお口の状態に合わせて、診療時間を確保して予約をお取りしています。「急に予定が入ってしまった」「仕事や学校の都合がつかなくなった」「体調が悪くなってしまった」など、予定日に来院することが難しくなることは誰にでもあります。特に今の季節は、気温の変化によって体調を崩しやすくなるため、急な変更が必要になることもあるかと思います。

そのような場合には、分かった時点でできるだけ早めにご連絡ください。早めにご連絡いただけると、予約時間を他の患者さまの診療に充てたり、早い日時でお取り直しできる場合もあります。

予約時間に間に合わない場合も「少しだけなら大丈夫かな？」とそのまま来院するのではなく、一度お電話でご相談いただけるとありがたいです。遅れる時間によっては、予定していた治療を変更させていただく場合がございます。

また、無断キャンセルは確保していた時間を無駄にしてしまうだけでなく、その時間に診療を希望されていた他の患者さまにもご案内できなくなってしまいます。やむを得ず来院できない場合は、短いお電話でも大丈夫ですので、できるだけご連絡をお願いいたします。もちろん、急な体調不良や用事などで、どうしても事前に連絡することが難しい場合もあるかと思います。そのような場合でも、落ち着いてからで構いませんので、後からでもご連絡いただけると助かります。

受付では、患者さまがスムーズに診療を受けていただけるよう予約の変更や次回のご予約についてもできる限りお手伝いしますので、どうぞお気軽にご連絡ください。